

ごあいさつ

学長 広渡 純子

3月に入り、聖和キャンパスでは木々の芽が春を待ち侘びるかのように日毎に膨み始めました。卒業生のみなさま、お元気でお過ごしでしょうか。

聖和短期大学は、今年度もみなさまのお祈りとご支援に支えられて順調に歩みを進めることができました。昨年12月のクリスマス礼拝では「音楽と賛美でたどるクリスマスストーリー」をテーマに全学生、全教員が歌や楽器の演奏を担当し、みんなでクリスマスを祝いました。礼拝後はホイッカーズ（保育科～ず。2010年に結成された有志による吹奏楽グループ）が「シング・シング・シング」などの素敵なジャズ演奏をプレゼントしてくれました。ご存じのように短大の学生は大変忙しい毎日を送っておりますが、それでもスケジュールの合間をぬって仲間が集まり、吹奏楽だけでなくコーラスやダンス、手話等を楽しんでいます。また、いろいろな場所で積極的にボランティア活動に取り組む学生もいます。勉強だけでなく学生時代のこのような経験も卒業後のそれぞれの働きの中で大いに活かされることなのでしょう。3月19日には新しい後輩たちが学び舎を巣立っていきます。

今後とも母校のことをお覚えいただき、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



聖和キャンパス 80周年を迎えて

聖和短期大学があるキャンパスは、2012年に現在の西宮市岡田山の地で80周年を迎えました。ここは、1880年に創立された日本初の女性たちの神学校である神戸女子神学校が、1932年に神戸女学院と共に神戸から移ってきて、キャンパスとして開いた場所です。

写真①は、始めの校地の風景。ススキの草はらを前に、ヴォーリス建築の美しい洋館が3つと日本人教師住宅が建てられました。この右手の建物が、今もみんなに愛されている現在の4号館（ダッドレーチャペル）です。当時、チャペルのある珍しい洋館には、近くの村の子どもたちがやってきて、毎週キリスト教の日曜学校が行われ、日曜の夕礼拝には、両隣の関学、神戸女学院からも教職員、学生たちが集ったといわれます。

その後、戦争により移転を余儀なくされた大阪のランバス女学院と合同して、1941年に聖和（聖なる和合）女子学院となり、敵国となってしまったアメリカの宣教師たちが本国へ帰り、暗く厳しい時代を過ごします。その戦争が終わり、写真②では、幼稚園の子どもたちと学生たち、戻ってきた宣教師がみんなで手をつないで運動会を開いています。

そして1951年、新しい学制により聖和女子短期大学が誕生します。校地も広がり、現在の南門の位置に短大の立派な門柱（写真③）が建てられました。その後も女子大へ、大学へと発展し、1995年の阪神淡路大震災を経て、2009年に関西学院と合併。この地は、関西学院西宮聖和キャンパスとなりました。

80年前の草はらは、「聖和の森」と呼ばれる小さな庭になり、常緑のクロガネモ

チや松の輝く緑と共に、色づき葉を落とすトウカエデ、ナンキンハゼ、メタセコイヤ、桜などが季節を豊かに彩ります。みんなをほっとさせる空間に小鳥や虫の鳴き声、赤ちゃんや子どもたち、お母さんたちの呼び声、学生たちの挨拶の声が今日も響いています。ダッドレーチャペルの前には、種から芽生えて、毎年実をつけるビワの木

があります（写真④）。昔も今も、様々な違いある人たちを受け容れ、キリストの愛によって「蒔かれし種」を育ててきた聖和キャンパスは、今年もここから卒業生を送り出します。

“岡田山 木に花香り All for Christ きよき旅路の出立ちの門”（学歌「新しき歌」）



～上谷潤子先生を偲んで～

昨年の短大通信に上谷潤子奨学金の目録授与式の記事と写真を掲載いたしましたが、残念ながら今回は先生の訃報をお伝えしなければなりません。上谷先生は、聖和女子短期大学を卒業され、アメリカにご留学の後、1956年(昭和31年)より40年以上もの長きにわたって聖和の保育者養成に携わってくださいました。先生のゲーム指導や絵画製作の授業を受けた方は、「まあ素敵!」とほめる先生の声を覚えていらっしゃるのではないのでしょうか。聖和が大好きだった先生は、1999年にご退職の後も大学、幼稚園、同窓会等の行事に来てくださり、その笑顔とユーモアで私たちを明るくしてくださいました。



昨年1月に先生から寄付のお申し出があり、短期大学に「上谷潤子奨学金」を設立することがで

き共に喜んでおりましたが、その後病状が悪化し、心待ちにしておられた満開の桜を楽しまれた後、4月27日にご逝去になりました。告別式で配られた上谷先生からの最後の挨拶状には、自筆の「ありがとう」の言葉と指で丸をつくって微笑む先生の写真が載せられていました。「OK(大丈夫よ)!」と私たちを励ましておられるような、最後まで笑顔の上谷先生でした。

学長 広渡 純子



☆2013年度ホームカミングデーのお知らせ



2012年度ホームカミングデーは9月1日(土)に開催されました。当日は、約50名の卒業生が集い、小山先生の短期大学近況報告、宇都宮先生のミニ講義およびピアノ演奏などの後、先生方や旧友との懇談など、学生時代を懐かしみ、楽しい一時を過ごしました。

さて、2013年度も9月7日(土)にホームカミングデーを予定しております。皆さまにおかれましてはご多忙とは存じますが、是非、聖和キャンパスへ足をお運びいただき、近況報告や思い出話に花を咲かせていただければと思います。学生時代を思い出し、聖和坂を登って来てください。ご参加をお待ちしております。

なお、開催時刻・プログラム等の詳細につきましては、聖和短期大学ホームページ等でお知らせいたしますので、ご確認ください。

☆認定ベビーシッター資格登録更新手続きのお知らせ

2007年度(2008年3月)の卒業生で認定ベビーシッター資格を取得された方は、登録更新を迎えましたので、お手続きをお願いいたします。

なお、資格更新期限は5年間となっておりますので、お手許の登録証(カード)を確認のうえ、更新の該当年度にはお手続きいただきますようお願いいたします。

【手続窓口】 公益社団法人 全国保育サービス協会
(旧称: 社団法人 全国ベビーシッター協会)
〒160-0017 東京都新宿区左門町6-17 YSKビル7F
TEL03-5363-7455 E-mail info@acsa.jp

※手続の詳細はこちらのURLへ

<http://www.acsa.jp/htm/infomation/index.htm>

～主なスケジュール～ (2013年3月～2014年2月)

新年度(2013年度)の主な行事予定を掲載しております。ぜひ母校に足をお運びいただき、共により時を過ごしたいと思います。今後とも、変らぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

卒業感謝礼拝	2013年3月18日
卒業式	3月19日
入学式	4月1日
オープンキャンパス	7月28日、8月10日
夏の研修会	9月7日
ホームカミングデー	
大学祭(聖和キャンパス祭)	11月23日
短期大学クリスマス礼拝	12月12日

※上記日程は予定です。変更等がある場合は、聖和短期大学ホームページにてお知らせしますので、ご確認ください。

連絡先 聖和短期大学事務局

住 所 〒662-0827 西宮市岡田山7-54

電 話 0798-54-6504

E-mail tandai-jimu@kwansei.ac.jp

URL http://www.kwansei.jp/seiwa_j_college/

2013年3月1日発行

学校法人関西学院 聖和短期大学